

開講科目名 / Course	看護政策論	
ターム・学期 / Term・Semester	2026年度 / Academic Year 1 学期 / First	
開講区分 / semester offered	1 学期 / First	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	4	
主担当教員 / Main Instructor	福田 広美	
担当教員名 / Instructor	福田 広美、荒木 章裕、矢野 亜紀子、大矢 七瀬	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	8	
科目の目的と概要	看護制度や政策に関する基礎知識や基本的な考え方について学修する。看護制度が創られてきた過程を学ぶことで、基本的な政策過程を理解する。また、看護制度における課題を理解し、課題を解決していくための看護政策への参画や改革について基礎的な考え方を学修する。	
到達目標	1. 看護制度や政策に関する基礎知識や基本的な考え方を述べることができる。 2. 看護政策過程の基本的なプロセスについて説明できる。 3. 看護制度の課題を解決していくための基本的な考え方を述べるができる。	
DPとの対応	3.看護の基盤となる専門知識・技能、4.連携協働・リーダーシップ	
授業計画	01. 看護政策と社会的責務 02. 看護の課題と法制度の改正 03. 看護政策の課題 04. グループワーク発表 05. 看護政策過程と看護職能団体 06. 看護政策と法律改正事例 07. 看護政策課題と対策の要望 08. グループワーク発表	
その他の授業の工夫	学生が主体的に学ぶため、グループワークや発表、意見交換等のアクティブラーニングを実施する。看護学実習の経験をもとに看護制度や政策について考え、理解を深める。	
時間外学修	事前学修：事前課題やレポートにより講義に関する予習を行う（7h）。 事後学修：事前課題やレポートにより講義に関する復習を行う（15h）。 看護学実習で看護制度や政策に関する知識を活用する。	
評価方法と評価割合	提出物（30%）とレポート（70%）を判断して評価します。 出席を前提としているため欠席の場合は減点の対象とします。	
テキスト	授業ごとにハンドアウトを配布する。	
参考書	看護職者のための政策過程入門（日本看護協会出版会） 看護制度と政策（法政大学出版局） 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[1]（医学書院） 看護の統合と実践 看護管理（メディカ出版）	
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	福田広美：病院に勤務する看護師 荒木章裕：病院に勤務する看護師 矢野亜紀子：病院に勤務する看護師 大矢七瀬：病院に勤務する助産師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	看護の実務経験を活かして看護管理の理論や知識、看護政策について教育する。	